

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |   |
|--------------------|-----|--|---|--|---|
|                    |     |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |  |   |  |   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                             | 名札に書かれている法人理念、コンセプトを常に確認しながら、また毎月開催している会議等で、施設目標を再確認し職員全員が共有している。法人理念、施設目標は常に事務所に掲示し毎日確認しながら意識して取り組むようにしている。                          | 職員の名札の裏には、法人の理念・コンセプトが明記されており、仕事に入るときには確認し、常にふり返りが出来るようになっている。月1回、第2金曜日の夜に職員全員参加による会議が行われ、理念にそぐわない対応があった場合などは全員で検討し、情報の共有化を図り、改善に取り組んでいる。ホーム独自の理念はないため、まもなく開設1年を迎えるので、目標等を検討したいと伺った。 |   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                             | 定期的にボランティアの来訪がある。今後はもっと交流を広げていきたいと思っている。また、施設周辺の散歩をすることで、まず私たちを知っていただく事、そして少しずつ馴染みの関係が作れるよう努めている。                                     | 開設まもないことから、地域との交流はこれから徐々に進めていく予定である。来年度から計画を立て、近くの小学校・保育園とは交流していく方向で進んでいる。生け花や大正琴、オカリナ演奏、ハンドマッサージなどのボランティアの来訪もあり利用者は楽しみにしている。  | 歴史のある地域であるため、昨年5月に開設したばかりのホームとしては溶け込むには難しい面もあると思われるが、地域密着型サービスでもあることを踏まえ、徐々に地元地区との交流を進められることを期待したい。 |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                           | 地域に貢献出来るよう地域活動などへの参加も機会があればぜひ参加していきたい。  |  |   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている        | 施設での取り組みなど報告し、意見交換を行なっている。その時に出た意見や質問などは会議で報告し、その内容は会議議事録で周知し今後のサービス向上に活かしている。  | 昨年5月に開設し、8月から定期的に開催している。家族代表、区長、民生委員、知見者、町健康福祉課職員、地域包括支援センター職員などが参加し開かれている。初回には法人の理事も参加し、法人の理念及び運営方針についての説明をしている。ホームからは前3ヶ月の活動報告と今後3ヶ月の予定を話し、地域との連携をはじめとした課題などについて活発に意見交換している。       |   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                  | 運営推進会議、介護認定調査等の機会に、町の職員の方と連携をとり情報交換等行なっている。   | 町担当者、地域包括支援センター職員も運営推進会議に参加しており、情報交換を密に行っている。介護認定の更新時は家族が申請し、ホームにて家族も同席し認定調査が行われている。介護相談員の派遣について町福祉課から話があり、受け入れをする方向でいる。   |   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束については法人の考えを伝え、禁止行為、理由について会議で話し合いをしている。自由に外に出られる環境の大切さは理解しているが、ご利用者の安全確保を第一に考え現在、玄関は施錠している。ご家族にも了解を得ている。出来るだけ施錠しないケアについても今後検討していく。 | 身体拘束をしないケアについて、法人全体で取り組んでおり、委員会も設けられている。委員会を中心に内部研修も行われ、職員全体に周知徹底されている。離脱気味の方には希望を聞き、本人が納得できるように取り組むことで落ち着いて過ごすことができている。   |   |

グループホーム縁

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
|    |     |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている        | 日常、又は会議等で話し合い理解を深めている。人生の大先輩である方々であることを意識し、日常での言葉かけやケアが適切に行なわれているか確認している。   |   |                   |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援        | 研修会への参加、成人後見制度や日常生活自立支援事業については少しずつ学ぶ機会を持ちたいと考えている。  |   |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 入居時に十分な説明を行ない、ご家族の不安な点や疑問点など確認し答えながら同意を得ている。また、不明な点等は問い合わせをして頂いて納得できるまでお話している。                                      |   |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 常にご利用者の意見に耳を傾けています。又、ご家族とは遠慮なく話せる環境づくりに努めています。ご家族の面会時には最近の状況報告をしてご家族の意見や要望にもしっかり耳を傾けています。運営推進会議でも自由に発言頂き運営に活かしています。 | 初年度につき「御家族に入居者様の生活を知っていただく」をテーマに10月に家族会を開き、大勢参加していただき、日頃の暮らしの様子を知っていただいた。今年からは、年2回家族会を開き、交流をしていく予定である。利用者の誕生日には家族も参加され誕生会を開いている。毎月請求書と一緒に看護師や担当職員が日頃の様子を書いた「ゆかり便り」を送っている。家族の来訪時には意見や要望を聞いている。 |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 会議等で意見交換をし、そこで出た意見や提案、問題点を明確にし、全員で話し合い運営に反映させている。   | 月1回の職員会議では課題や提案が出され、活発に意見交換し、改善に努めている。会議に欠席すると不安になるとの声もあり、全員参加で行われている。個人目標を立て、半期に1度面談し意見を聞いており、法人全体で行われている接遇チェック表もその際に参考資料として活用されている。   |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 個人目標を作成してもらい、自己評価を行なっている。適時、確認、面談を行ないながら自己評価を見てのアドバイスや本人から不安等を聞きながら、やりがいを持って働けるように努めている。                            |   |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 会議で勉強したり、法人内外の研修に参加できるような体制を取っている。又、介護雇用プログラムを利用し勤務しながら資格を取得する制度の活用もしている。   |   |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 毎月のグループホーム会議で他施設と情報交換をしている。毎回議題を上げ検討を行ない常に質の向上に取り組んでいる。   |   |                   |

| 自己                          | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|-----------------------------|-----|--|--|--|-------------------|
|                             |     |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |  |                   |
| 15                          |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 申し込み前にご家族だけではなく、ご本人にも来所して頂き、施設内を見たり、ご本人の困りごとや想い等お聞きしている。事前面談では、身体面、生活面、希望など情報収集を出来るだけ行ない入居後本人の想いを受け止めケアに活かせるようにしている。 |  |                   |
| 16                          |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 申し込み時、契約前に施設内外を見て頂くと共に、ご家族の様々な想いに共感している。また入居前、入居後の不安や要望などに耳を傾け信頼関係を築けるよう努力している。                                      |  |                   |
| 17                          |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 必ずご本人とご家族の思いや考えを聞き、必要としている支援、必要であろう支援を見極めるように努めている。当施設ではどのような支援やサービスが行なえるのかを常に考え対応できるよう努めている。                        |  |                   |
| 18                          |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 同じ目線に立ち、共に喜びや悲しみ楽しみを共感している。共に出来るを見つけ、同じ立場で行いながら良い関係作りをしている。  |  |                   |
| 19                          |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 日頃の生活の様子、身体の状態を毎月担当者が記入しお便りにて報告すると共に、ご家族の面会時にもお伝えしている。また、施設での行事に来て頂きご家族と共に過ごす時間を作っている。                               |  |                   |
| 20                          | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 面会、外出、外泊の制限はない為、いつでも誰でも馴染みのある方が来てふれ合えるようにしている。また馴染みの方が遠慮せずに来れるような雰囲気作りに努めている。  | 友人とドライブに出掛ける方もいる。利用前からのお茶のみ友達が来訪し、居室でお茶をのんでゆっくりとしていられることもある。散歩に出掛けたときに近所の方と顔馴染みになるように挨拶や話しかけもしている。 |                   |
| 21                          |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | ご利用者同士の会話やコミュニケーションの時間を大切にしている。またその環境作りに努めたり、たくさんのご利用者に関わりが持てるような声かけや機会を作っている。                                       |  |                   |

グループホーム縁

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |  |
|------------------------------------|------|--|--|---|-------------------|--|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 契約が終了しても、今までの生活環境が維持できるように、また支援が継続出来るよう、他事業所、ご家族に情報を提供していきたいと思っている。  |   |                   |  |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |   |                   |  |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 日頃の関わりの中で、表情や態度、行動などから思いを汲み取るようにしている。自分から訴えが少ない方や、上手く伝える事が出来ない方は、ご家族に相談したりまたご家族から情報を得てスタッフでカンファレンスをし検討を行なっている。 | 殆どの利用者が思いや要望を表出できるが、難しい方には居室でゆっくり聞くようにしており、利用者の要望や意向を把握するようにしている。ボランティアの協力により庭の一角を家庭菜園にし、豆、オクラ、きゅうり、なす、トマトなど、野菜づくりの好きな利用者と一緒に育てている。自分で収穫した野菜が食卓に上り、食事の時間に会話が弾んだという。 |                   |  |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | ご本人やご家族から生活歴や馴染みの暮らし方生活環境など聞いて情報を共有していくよう努めている。  |   |                   |  |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 一人一人の生活リズム、過ごし方を把握し、出来る事、好きな事等ミーティングで共有するよう努めている。  |   |                   |  |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご本人の考えや要望、意見を関わりの中でお聞きしたり、ご家族が面会に来られた際、本人の意向などお伝えし、ご家族の考えや想いなども含め相談しながらケアに反映させるよう介護計画を作成している。                  | 日々の介護記録を基に担当者を含めモニタリングを行い介護計画を検討している。開所間もないため、最初は1ヶ月で行い、その後、3ヶ月毎にモニタリングを行い、見直しも行っている。変化がなければ継続し6ヶ月で見直している。状態の変化に応じて随時の見直しも行っている。                                    |                   |  |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 個人記録に身体情報、その日にあった事、本人が訴えた事、言った事をそのまま記入し、業務開始前に業務日誌と個人記録を確認するよう義務づけしている。また記録をもとに評価し介護計画の見直しを行なっている。             |   |                   |  |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | ご本人のご希望は出来る限り行えるようにしている。またその時々生まれるニーズに対しても対応出来るよ体制を整えている。  |   |                   |  |

グループホーム縁

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|------|---|--|--|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 町の職員、包括支援センター、民生委員の方と運営推進会議で情報交換を行ない、施設への理解や協力を頂いている。又、ボランティアの方、訪問理容などにも定期的に来て頂いている。                       |  |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | ご本人とご家族が希望するかかりつけ医となっている。定期受診はご家族対応であるが、緊急時は職員が付き添い受診する柔軟な対応を取っている。施設での状況など手紙に書き主治医に渡して頂いたりしながら常に連携を取っている。 | 契約時に本人、家族に希望をお聞きしている。利用前からのかかりつけ医から協力医に変更された方もいるが、基本的に受診の付き添いは家族にお願いしている。受診の際には看護師より情報の提供を行っている。協力病院では往診がないため、ホームへの往診医療機関について交渉中である。 |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 施設に看護師は2名居るので、何かあればすぐ対応出来るようになっている。  |  |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時は必ず看護師が付き添い、情報提供をしている。本人の様子を見に伺ったり、ご家族、医療機関との連絡を取り合い、回復状況を確認しながら早期退院が出来るよう努めている。                        |  |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる   | ご本人やご家族の希望を聞き、かかりつけ医と相談を十分に行いながら方針を決めたいと思っている。又、重度化した場合における指針は、ご家族にきちんと説明し同意を文書にて頂いている。                    | 重要事項説明書に「重度化した場合における対応に係る指針」が明記されており、契約時に希望をお聞きしている。看護師と24時間連絡が取れる体制であり、状態の変化が生じたときには家族の気持ちの変化もあると思われることからその都度確認をしていく方向でいる。          |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 法人での研修に参加したり、施設にある緊急時マニュアルを周知するよう会議等で説明している。また実際起きてしまったインシデントやアクシデントをもとに会議で話し合い全職員が勉強している。                 |  |                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 毎月、ミニ防災訓練を実施し、6月、11月はご利用者も一緒に総合防災訓練を行い、消防署の指導も受けている。通報方法や消火器の取り扱い方法等も法人の危機管理者から適時指導を受け全職員が行なえる体制を取っている。    | 毎月ミニ訓練を行っており、年2回は全員参加の総合防災訓練を実施し、通報訓練、消火器の取り扱い訓練等にも取り組んでいる。運営推進会議の時に、地域交流を兼ねてのAEDなどの訓練も行ってはどうかとの提案があった。次年度は夜間想定訓練を予定している。備蓄も用意されている。 |                   |

グループホーム縁

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |  |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 一人一人の気持ちを大切に気分を害す事のない様な声掛けや言葉使いをするよう常に心掛けている。またプライバシーが守られ個人を尊重する対応が出来るよう取組んでいる。   | 日頃から聞きなれている、名字に〇〇さんとの声かけをしている。言葉で不快にならないよう心掛けており、気になる対応があった時にはその都度職員間でお互いに声を掛け合い気を損ねないように対応している。   |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | ご利用者が自己決定出来るような分かり易く、選びやすいような言葉掛けをおこなっている。  |  |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | その日その時にやりたい事が出来るような体制を取っている。ご利用者の気持ちを大切に、その方のペースで日々過ごせるように支援している。   |  |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 更衣時できる限りご自分で選んで着れるような言葉掛けをしている。訪問理容を活用しご自分の好きな髪形にカットして頂いたり、イベントなどの時は化粧やマニキュアなどしておしゃれを楽しんでいる。  |  |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 季節を感じられるメニューを考えたり、ご利用者の希望を聞きながらメニューを考えている。食事作りから片付けまで決して強制することなくご利用者本人が行いたい時に一緒に行なっている。食事中は音楽を流し職員とご利用者が同じテーブルで会話を楽しみながらゆったりとした時間の中で楽しく食事が出来るようにしている。 | 食事には特に力を入れており、法人のコンセプトにも「心を豊かにする食事の提供を大切にします」を掲げている。季節を感じられるよう行事食も取り入れ、誕生日には食べたいものをお聞きしたり、おやつにケーキを作って家族にも参加していただき一緒にお祝いしている。また、日頃の食事の準備や下膳等は力量に応じてお手伝いをお願いしている。午後のおやつは、利用者と一緒に作っている。 |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 栄養バランスに気をつけたり、個別の嗜好にも気を配りながら偏りのないメニューを考えている。食事量は毎食確認し把握出来ている。一日の水分量もしっかり確保出来るようこまめに提供している。  |  |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 毎食後、全員が口腔ケアを行っている。義歯の方は定期的に洗浄剤を使用したり、一人一人に必要な介助を行ない、常に口腔内の清潔が保てるように努めている。   |  |                   |

グループホーム縁

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|------|---|--|--|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 排泄チェック表を使用し排泄の状況を常に把握している。一人一人排泄パターンも違い、排泄用品もご利用者ごと様々なので、その時の時間やタイミングを見ながらその時に必要な援助をしている。またプライバシーにも配慮しオムツはずし等の自立支援にも取り組んでいる。 | 自立されている方が多い。排泄チェックリストにより一人ひとりの排泄パターンを把握しており、一部介助などが必要な方にはさがりがなく声掛けしトイレ誘導を行っている。リハビリパンツの方も、日中は出来るだけ布パンツで過ごせるよう支援している。   |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 排泄チェック表や腹部状態、食事摂取状況など確認しながら便秘にならないよう水分を多く取って頂いたり、運動や腹部マッサージを行ないながら出来る限り自然排便が出来るよう努めている。                                      |  |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | ある程度の日時は決まっているが、本人の状態や希望に合わせて入浴している。入浴剤をご利用者に選んで頂き、色や匂いなどでも入浴を楽しめるような配慮をしている。  | 自立されている方が多く、見守りで入浴ができており、全介助の方は今のところいない。基本的には週2回の入浴としているが、希望により入浴はいつでも出来る。自宅にいたときと同じように、寝る前を希望される方もおり対応している。入浴に誘っても難しい方には入浴剤を色々用意し選んでいただき、気持ちよく入浴されるよう工夫している。温泉地でもありドライブを兼ね足湯に出かけることもある。 |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 一人一人の希望時間に入眠出来るよう就寝時間は決めていない。日中も好きな時に好きな場所で休息が取れるようにしている。眠れない方は眠くなるまで一緒にお話ししたり、足浴などして安眠出来るよう努めている。                           |  |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 誰がどんな薬を服用しているか、用法、効能が一目で分かるように一覧にしている。薬の副作用もファイルを見れば分かるようになっている。薬の変更や追加などある時は、申し送りノートに記載し全職員が把握できるようにしている。                   |  |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 一人一人役割が持てるように支援している。出来る事、希望する事は行なってもらい生活に張り合いが持てるようにしている。また季節の行事や外出等で気分転換が図れるよう支援している。                                       |  |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 天気の良い日は、散歩やドライブに出掛けその時々季節感を感じて頂けるよう努めている。ご本人のしたい事のご希望があれば希望に添えるように努め、ご家族の協力が必要な時はお話をしてお話をして実現できるよう支援している。                    | 外出行事は年間計画を立て、温泉地でもあることから足湯や紅葉狩り、諏訪湖の御神渡りや白鳥見学、御柱でも有名な諏訪大社への初詣など出来る限り戸外に出る機会をもうけている。静かな新興住宅地で車の激しい通りからは離れているため、天気の良い日にはホーム周辺を散歩している。  |                   |

グループホーム縁

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|------|--|---|---|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | ご本人が希望しご家族が理解していれば少額所持している方もいる。家人より小口現金をお預かりしているのので、買い物へ出掛けた際、購入したいとの希望があればそこからお金を出しご自分で購入できるようにしている。 |   |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 本人の希望に応じ行なっている。   |   |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 生け花などで季節の花を飾り、また季節のものを飾ったりしながら四季を感じて頂けるようにしている。ご利用者の方に花瓶に花を飾って頂いたりもしている。不快を感じさせず居心地の良い場所となるように配慮している。 | 玄関にはボランティアによる生け花が飾られ、各ユニットに入ると広い共有スペースとなっている。廊下の壁は収納庫となっていて非常食などが収められている。地域交流スペースがあり、40~50人程が集まることができ、家族会も開催している。そこを利用し、地域の方に声がけしホームで備えているAEDなどの講習会を行ったらどうかとの提案もある。敷地の南側は畑に隣接しており明るく陽あたりが良く、広々とした芝生ももうけられている。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | ご利用者それぞれの居場所があり、その場所で気の合った方と話をしたり、テレビを観たりしてくつろいで過ごせるように配慮している。  |   |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 居室はご本人の好きな空間であるように、使っていた家具や家族との写真など好きなものを持ち込み、以前と変わらない環境の中で過ごせるように努めている。                              | 居室には馴染みの家具や調度品が持込まれている。家族の写真が飾られるなど一人ひとりが居心地よく過ごせるように工夫されている。   |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 一人一人の出来る事、分かる事を把握すると共に、それらを継続して行なっていけるように安全に配慮しながら、自立した生活が送れるように努めている。                                |   |                   |